



「はあ……大きいなあ……
これ全部入るのかなあ？」

「準備はいいかい？ 彼方ちゃん」

「ふん……おん……」

「入るよ……彼方ちゃんの中に……」

「うん……」



わわわ...

ふー

わわわ...

わー

ふっ...あっ! ああ...
入ってきちゃったあ...♡♡

「大丈夫? 痛くない?」

「大丈夫だよ。
気持ちいいから、もっと...♡♡♡♡♡」

「それは良かった。
じゃあ動いていくね...」

わー

わー

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

ズロツ

ズロツ

「あっ、動いてる……」

奥まで当たって気持ちいい……♡」

「彼方ちゃんの中、最高だよ。
俺のモノ、ずる〜フイットしてる
感じがする……」

「あーっ……まだ激しく
動かないで……壊れちゃっつう……」

「我慢できない……
今日はずっと彼方ちゃんを
感じたくて……」

ずちゅっ



「凄く締め付けてる...
彼方ちゃんの中、最高だよー!」

「ふわあ...彼方ちゃん、すごく
感じちゃうのよ...♡」

「あー、むん気持わるる...
ははは...♡」

すっぴん



「ふわふわおっぱいが揺れてるよ
めっちゃエロい……」

「深あゝく入ってるよお……」
「すごい……気持ちいい……」

「めっ……めんっ……
ん……だめ……」

「やばい……このまま出ちゃいそうだ……
彼方の中に出したい……!」





「はあ……すごい量だ……」

「ふわあ……あつたかい……
いっぱい注いでもらって……
嬉しいなあ……♡」

「最高だったよ……彼方ちゃん♡」

「んふふ……♡あのね……
彼方ちゃんもつとしたいなあ……」

とろお…

「ひいけど、大丈夫か？
結構激しく動いたし……」

「大丈夫だよ、彼方ちゃん、
身体は頑丈だからねえ……」

「分かったよ。彼方ちゃんが望むなら
何度でもしよーっ！」

「ありがっ……おっ……
もう一回……ねっ！」

















